

**吉川駅北口駅前広場
改修は延期を**



遠藤 義法

問 来春には、さくら通りの4車線化、吉川美南駅東口の暫定供用が開始される。それ以後の車の流れを見て改修すべきではないか。

答 吉川駅北口改修は、吉川美南駅東口の暫定供用ができる、できないは関係ない。早急に改修の必要性がある。

問 吉川駅南口の利用を誘導する施策は。

答 工事期間中の利用に限定したものになる。

問 吉川美南駅東口への既存道路、とりわけクランクを無くす改修が必要だが、計画は。

答 クランクの箇所を含め道路網整備を検討しているが、方向性が見えた段階で計画書をつくる。埼玉クリック前交差点の右折帯設置は、県に要望する。

◆公契約条例の制定を

問 市が発注する公共工事やおあしす管理などの委託業務で、契約に沿って労働者への賃金が適正に支払われているか、立ち入り調査などができる公契約条例を策定するべきと考えるが。

答 立ち入りなどするためには公契約条例が必要になる。制定にあたっては十分な検討が必要と考えている。

**加齢性難聴者の
補聴器購入費用の助成を**



雪田 きよみ

問 今年3月議会に提出された「加齢性難聴者の補聴器購入に市の助成を求める請願」は賛成多数で採択された。市の対応は。

答 加齢性難聴は認知症のリスク要因。聴力の確保は高齢者の認知症予防、社会参加を促すため重要であるが、比較的安価な集音器も販売されており、公費助成を行うべき状況にない。

問 補聴器と集音器の違いは。

答 補聴器は様々な音の間こえ方について調整して使う管理医療機器。集音器は音を全て大きくする家電製品。

問 真摯な調査が行われたのか非常に疑問。

答 補聴器と集音器の違い、活用効果、集音器が今だけ利用されているか、他市町の現実を踏まえたうえでの結論。

問 補聴器が必要でありながら、高額で購入できない方に対して、認知症予防等のために購入費用を助成してほしいとの請願。集音器と比較するべきではない。市長の判断は。

答 担当課が情報収集、検討した結果を市長に報告し、このような結論に至った。

**ホームページ、
ぜひご利用ください！**

市のホームページでは、
意見書の全文や本会議の
議録、議会活動などがご
覧いただけます。
ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会

**自治体における DX について
どのように取り組むのか**



中嶋 通治

問 本市のDXの推進における現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

答 市民の方々にデジタル化の恩恵を広くいき渡されることを目指している。専門講師による高齢者向けスマホ教室を9月から開催している。急速に発展するデジタル技術を効果的に使いこなしていくためには、職員の意識改革とデジタル人材の確保、育成が重要。

問 口頭やスマートフォン等の申請情報の入力により、証明書や必要な書類が入手できる「書かない窓口」、関連する手続きをワンストップで完了できる「待たない窓口」、オンライン上の電子申請で行政手続きが完了する「行かない窓口」を目指す自治体が増えているが「書かない窓口」、「待たない窓口」「行かない窓口」の認識は。

答 市役所に来庁せず、インターネット上から行政サービスを利用できる手段を普及させていく事により、サービスの向上に力を入れていく。行政手続きオンライン化と自治体の情報システムの標準化・共通化を進めていく中で取り組んでいく。